

## 開会の挨拶



高久 史麿 (日本医学会長)

みなさま、おはようございます。本日は第126回日本医学会シンポジウムとしてアレルギー・アトピー性疾患を取り上げましたところ、朝から多数お集まりいただきまして、ありがとうございました。

今回のシンポジウムでは、司会をしていただきます順天堂大学の小川先生、奥村先生、東京大学の山本先生のお三方にプログラムを作ってくださいました。私がここで今さらいうまでもないことですが、近年アレルギー性疾患、とくにアトピー性疾患が非常に増えており、これらの疾患の発生には、遺伝的な要因もちろん関係していますが、最近の増加をみますと、環境の要因がかなり大きいのではないかとわれています。したがって、

新しい知見に基づく病態の解明、さらに治療が今後展開されるのではないかと期待しています。

今日ご発表していただきます先生方は、いずれもこの分野でわが国の第一線で研究、診療に当たっておられる方々でして、ご参集のみなさま方はこれらの先生方のお話をうかがうことによって多くの知見、知識が得られるのではないかと考えています。改めて、本日のプログラムを作ってください、かつ座長の任を担っていただきます小川先生、奥村先生、山本先生、さらに演者の先生方にお礼を申し上げて、簡単ですが開会のご挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。